ストーブ火災を防ぐには！

★燃えやすい物は置かない

衣類や雑誌などが近くに置いてあると、ちょっとしたはずみでストーブに触れ出火するおそれがあります。

スプレー缶等は熱で缶が破裂し、漏れたガスに引火することがあります。

★洗濯物は干さない

ストーブの上や近くに洗濯物を干すと、ストーブに触れ火災になるおそれがあります。また、カーテンのそばでの使用も同様に火災になるおそれがあります。

★給油時には必ず消火

給油時に、カートリッジタンクのキャップの閉め忘れや緩み等で灯油が漏れてしまうと引火するおそれがあります。

必ず、消火してから給油しましょう。

★火を消す習慣を！

寝るときやその場を離れるときには火を消しましょう。

寝返り等で布団がストーブに触れ、火災になるおそれがあります。

ストーブ火災に限らず、火の元の確認や消火は火災予防の基本です。

★消毒用アルコールの安全な取り扱いについて

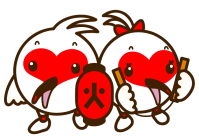
写真提供：新潟市消防局

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、手指の消毒に消毒用アルコールを使用する機会が増えています。

消毒用アルコールは、可燃性蒸気が発生するため、ストーブの近くで使用すると引火するおそれがあります。

詰替えを行うときも、ストーブの近くでは行わないようにしましょう。

【お問い合わせ先】
新潟県防災局消防課（電話：025-282-1665）



安全装置付き暖房機器が
おススメです！

給油時自動消火装置
※ カートリッジタンクを抜くと自動で消火します。

口金安全強化カートリッジタンク
※ 目、耳、触感等でカートリッジタンクのキャップ閉がわかります。

不完全燃焼防止機能強化（石油ファンヒーター）
※ より安全なレベル(一酸化炭素排出量)で作動します。

3つの安全機能でリスクを軽減！
PSCマークが付いた製品には安全装置が装着されています。

PSC
2009年以降の製造品には
PSCマークが付いています。

石油暖房機器を正しく利用しましょう

石油暖房機器による火災の主な原因
＊ストーブに衣類が落ちる、灯油をこぼす
＊スプレー缶や灯油などに引火する
＊布団などがストーブに触れる　　など

株式会社コロナ　　ダイニチ工業株式会社